NIE実践報告

1．タイトル：☆読み取ったことをもとに、自分の考えを発信しよう

2．学校名

愛媛県西条市立楠河小学校

3．実践者名（代表者名）

山田裕之

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　26人

6．単元（本時の学習課題）名

筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう「平和のとりでを築く」「自分の考えを発信しよう」

7．目標（狙い）

筆者の訴えたいことを読み取り、自分なりの考えをもつ。さらに、「平和」に関する新聞記事やいろいろな資料を活用して調べたり、話し合ったりして深めた自分の考えを発信する。

8．評価の視点

教材分やいろいろな資料を読み取ったことを根拠として、自分の考えを伝えるために効果的な文章の組み立てを考えて発信できたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「平和のとりでを築く」（教科書教材：光村図書）7時間
「自分の考えを発信しよう」8時間　　合計15時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①教材文「平和のとりでを築く」を読み、学習問題を作る。（1時間）
②「原爆ドーム」のたどった歴史と世界遺産への道のりを読み取る。（5時間）
③文章構成をつかみ、筆者の訴えたいことを読み取る。（1時間）
④自分が発信したいテーマ・発信方法を決め、新聞記事や本などから材料を集める。（5時間）
⑤新聞記者の方から、分かりやすく伝える方法を学び、文章にまとめる。（3時間）

（留意点）
・身近なことで自分にできることを発信させるために、新聞記事を紹介する。
・友達との意見交流や記者の方の声を聞くことにより、考えを深め、明確にさせる。
・伝え合う力を高めるために、お話集会で、全校児童に向けて発信させる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

○「感情に負けて、友達と争ってしまうこともあるけれど、感情を抑える努力をしていきたい。平和は私たちが築いていくもの。『平和のとりでを築く』ということは、いじめや差別をなくしていくことにつながる。平和の大切さを伝えていくことが大事だ。」等の意見が児童から出た。

12．成果と課題

○過去の事実だけでなく、人々の思いを載せた新聞記事を活用することで、教科のねらいに沿った授業展開をすることができた。
○このテーマだけでなく、いろいろなテーマについて新聞を手がかりに調べようとする意識が高まった。他の学習においても、家族ぐるみで新聞に対する関心が高まった。
○説明文教材で読み取ったことを表現に生かすための指導の工夫や、新聞記事のより効果的な活用方法について、系統的・計画的に研究を深めていきたい。